

令和2年度

家庭学習の手引き

～自ら学ぶ子をめざして～

家庭学習4か条

規則正しい生活習慣が大切です

1. 基本的な生活習慣の確立、特に「早寝 早起き 朝ごはん」
2. テレビやゲームの時間を決める
3. 家族の一員として、お手伝いに取り組む
4. 家庭で学習に取り組める時間帯を決める

東大阪市立藤戸小学校

藤戸小学校では、子どもたちの学力向上を重要課題に取り組みを進めています。

学力向上のためには、日々の授業が大切です。授業力の向上は教職員としての責務であり、授業研究会等日々研鑽に努めています。同時に家庭での協力も欠かせません。学校と家庭が協力し合うことで、子どもたちの力が何倍にも高められます。家庭学習の習慣化が、子どもたちの「生きる力」を高めていきます。ぜひ、ご協力をお願いします。

家庭学習の意義

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算などは、繰り返し練習することで定着していきます。

② 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながるといわれています。手足の筋肉と同じように、脳も鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなっています。

③ 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら学ぶ習慣が身につきます。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習に取り組むことが大切です。身についた学習習慣は一生の財産です。

④ がまん強さ、集中力、自立性を養う

テレビやゲームの誘惑をはねのけながら、家庭学習に取り組むことは、がまん強さや集中力を養うことになります。おけいごとやどうしても見たいテレビがある日などは、時間をやりくりしながら家庭学習の時間をとることで、自立性が身につきます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかり確保したいものです。

⑤ 家族のふれあい

低学年のうちには本を読んでもらうことをとても喜びます。本の読み聞かせ、また子どもが本を読むのを横で聞いてあげる、勉強がわからないときには教えたりいっしょに調べたりするなど、保護者がかかわることでコミュニケーションがはかれます。家族のふれあいは、子どもの心の安定、成長につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

家庭学習のポイント

家庭学習を進めていくためには、保護者の協力が欠かせません。その際、以下の事項にご留意ください。

① 決まった時間に行う

学校では毎日宿題を出しています。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で時間を組みにくいときもあるとは思いますが、その場合は先に済ませたり、テレビやゲームの時間を減らしたりして時間を生み出すことも必要になってきます。十分話し合い、実行するようにしてください。

② 集中して学習する

家庭学習は集中して取り組むことが大切です。短時間で集中して取り組むことが長続きのこつです。1年生は20分程度、2年生以上は学年×10分（4年生なら $4 \times 10 = 40$ 分）を目安にして集中して取り組むようにしてください。

③ 「ながら勉強」はさける

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」はさけてください。テレビの音が聞こえるような環境では子どもは集中できません。静かに学習できる環境を作ってあげるようにお願いします。

④ 集中しやすい場所、よい姿勢で学習する

学習する机の整理整頓も大切です。居間で保護者がそばにいるような環境も、低・中学年の子どもたちにとっては悪くはありませんが、漫画やゲーム機がすぐそばにあるようなところでは気が散ってしまいます。学習するときの姿勢も大切です。悪い姿勢ではすぐに疲れてしまいます。



⑤ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

保護者や先生が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることで、子どもたちは自信がつき進んで学習しようとする意欲が高まります。ほめすぎるぐらいほめてあげてください。

1年生

こんな時期です

- ・ 好奇心旺盛で何でも知りたがっています。
- ・ がんばったこと、よいことをほめてほしいと思っています。
- ・ 一人で学習することや、やり方を決めることはまだむずかしいです。
- ・ ほめてもらうことで、やる気や向上心がどんどん伸びます。

宿題はこんなふうに

(音読)

- ・ はっきりと、大きな声で読めるようにしましょう。
- ・ 句読点に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- ・ 毎日読むようにしましょう。

(ひらがな、カタカナ、漢字)

- ・ 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- ・ 姿勢をよくして書きましょう。
- ・ 下敷きをして、鉛筆の持ち方に気をつけましょう。

学年のページ

(かずの練習や計算)

- ・ はじめはゆっくりでいいので、正確にできるようになりましょう。
- ・ 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるようにしましょう。
- ・ 文章題は、絵や図に描いて考えましょう。

こんな家庭学習も…

- ☆ 読書（読み聞かせ等）
- ☆ あのね帳（日記）
- ☆ ハーモニカの練習
- ☆ 動植物の観察
- ☆ なわとび

家庭での援助

- ・ 学習を始める前にテレビを消しましょう。勉強する場の整理整頓をさせてください。
- ・ 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめてください。
- ・ 学習時間を決め、学習するときは近くにいてあげてください。
- ・ 規則正しい生活を心がけましょう。
- ・ 一緒に買い物をしたり、時計を読んだり、本の読み聞かせをしたりしながら、子どもが生活の中で学ぶ機会を増やしてください。

2年生

こんな時期です

- 学習課題が増えてくる中で、やらなければならないという意識をもち始める時期です。
- まだまだ話を聞いてほしい時期です。子どもの話に耳を傾けてあげてください。
- 決まった課題について、一人で学習できるようになります。
- 学習する時間帯が、ばらばらになってきます。
- 認めてもらうことでやる気が出てきます。

宿題はこんなふうに

(本読み)

- 正しい姿勢ではっきりとした声で読みましょう。
- 「、」や「。」、会話文に気をつけて読みましょう。

(漢字)

- 書き順や字の形に気をつけながら、ていねいに書きましょう。
- しっかりと覚えることを目標に練習しましょう。

学年のページ

(視写)

- ・ 字の形に気をつけながら、お手本通りにていねいに書きましょう。

(算数)

- ・ 正確にできるようにゆっくりとていねいにしましょう。
- ・ 正確にできるようになれば、徐々に早くできるようにしましょう。

こんな家庭学習も…

- ☆ 読書（読み聞かせ等含む）
- ☆ 作文ノート
- ☆ 視写
- ☆ 漢字練習
- ☆ 計算
- ☆ 文作り

家庭での援助

- ・ 学習を始める前にテレビを消しましょう。勉強する場の整理整頓をさせてください。
- ・ 学習時間を決めてください。
- ・ 学習がきちんとできているか確認をしてください。
- ・ 生活の様々な場面で、学習につながる声かけなど、学ぶ機会を作ってください。

3年生

こんな時期です

- ・ 世界が少し広がり、いろんなことに興味関心を持ち始める時期です。
- ・ まだまだ大人の支援を必要とします。
- ・ 興味のある学習には集中して取り組み、飛躍的に上達することがあります。
- ・ 算数ではわり算が始まり、学習する漢字も増えます。
- ・ 集団で行動するようになりますが、まだまだ自己中心的です。
- ・ 口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。

宿題はこんなふうに

(読み)

- ・ 音読は内容を理解するためにとっても大切です。大きな声でゆっくりと、句読点に気をつけながら読むようにしましょう。

(書き)

- ・ 漢字の書き取りは、ゆっくりとていねいに書きましょう。
- ・ とめ、はね、はらいに気をつけましょう。

学年のページ

(計算)

- ・ ノートのマスを意識して、ていねいに式や筆算を書きましょう。
- ・ 線を引くときは、定規を使いましょう。

こんな家庭学習も…

- ☆ 100マス計算 (時間をはかる)
- ☆ 視写(好きな言葉・文・詩など)
- ☆ 理科や社会では学習を自分なりにまとめるという学習もするので、自分が興味関心のあることを調べ、まとめる学習。
- ☆ リコーダーの練習
- ☆ 読書

家庭での援助

- ・ 落ち着いて学習できる環境を作ってください。
 - 静かな場所で
 - 机の上を整理して
- ・ ていねいに宿題をしているか確認をしてください。
- ・ 宿題をする時間を決めてください。宿題だけでなく規則正しい生活習慣を心がけることは大切です。
- ・ 家族で出かけるときなどは、地名やその特色などを話してあげてください。

4年生

こんな時期です

「書き言葉の獲得の時期」と言われています。たとえば、

- ・相手の立場に立って考えることができ始める。
- ・書くことで考えが深まる。
- ・新しい見方ができて書き方が変わったりする。

ですから、単に“自分の力でできたか”ではなく、

『考えて～する』という経験が、仲間といっしょにできたか、を大切にしたいものです。

宿題はこんなふうに

基本的には漢字、計算、音読の三種類の宿題を出そうと考えています。

漢字は、「とめ・はね・はらい」に気をつけ、ていねいに書くことが大切です。計算は、問題の番号を書き、ノートのマス通り、式や筆算を書きます。音読は、大きな声でゆっくりと、句読点に気をつけながら読みます。

どの宿題も「じっくりとていねいに」取り組むことが大切です。お家では、その環境つくりにご協力ください。

こんな家庭学習も…

- ☆ むずかしい漢字やまちがった漢字の練習
- ☆ むずかしい計算やまちがった計算の練習
- ☆ 視写（好きな文、詩など）
- ☆ 自分が興味のあることを調べ、まとめる学習
- ☆ 『今日学校で…』
（学校でのできごとを日記風を書く）
- ☆ 『今日の授業で…』
（自分がわかったことや思ったことを書く）
- ☆ 算数で習ったことをもう一度やって、答え合わせをする

家庭での援助

- 落ち着いて学習できる環境をつくってください。
 - ・ 静かな場所で
 - ・ 机の上を整理して
- ていねいにしているか、確認してください。
- 宿題をするという習慣がきちんとつくように、規則正しい生活習慣を心がけてください。

5年生

こんな時期です

- ・ 得意な学習と苦手な学習がはっきりとしてきます。
- ・ はっきりとした目的を持ち、学習内容を自分で決めることが望ましいです。
(例) 苦手分野を克服する、得意分野を伸ばす、など。
- ・ 物事を要領よくできるようになってくる反面、学習内容がおろそかになってしまうこともあります。

宿題はこんなふうに

(音読)

- ・ 誤読に気を付けて読みましょう。また、間の空け方や抑揚の付け方を工夫して、話すようにゆっくり読みましょう。

(漢字)

- ・ ハネ、止め、はらいに注意しましょう。
- ・ マス目を意識して、大きく字を書くようにしましょう。

(算数)

- ・ 計算の過程が分かるように、途中の計算を丁寧に書き

-学年のページ

残すようにしましょう。

- ・ 筆算や図を書くときは定規を使って丁寧にしましょう。

こんな家庭学習も…

☆ 学習ノート

(漢字練習、計算練習、復習【算数、理科…】)

☆ 教科書の内容に関係する本を読む

☆ テスト勉強

(学習内容を自分でノートに整理してまとめる)

☆ 日記

その日の出来事や授業のこと、季節を感じたり自然の不思議を感じたりしたことをつづりましょう。

家庭での援助

- ・ 集中して学習に取り組める環境（静かな場所、整理された机）を整えてください。
- ・ 学習時間を決め、その日の学習の計画を立てられるようにしてください。
- ・ 基本的な生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）が崩れやすい時期です。家庭で管理してあげてください。

6年生

こんな時期です

- ・ 自分の得意分野・苦手分野について、自覚ができてくる時期です。
- ・ はっきりとした目的を持ち、学習内容を自分で決めることが望ましいです。

例えば…苦手分野を克服する。

「小数÷小数の計算ミスをなくす」、「約分忘れをなくす」、「間違えやすい漢字を覚える」など

例えば…得意分野を伸ばす。

「かけ算・わり算・足し算・引き算がまざった計算をする」、「難しい熟語の意味調べをする」など

- ・ 物事を要領よくできるようになってくる反面、学習内容がおろそかになってしまうこともあります。

宿題はこんなふう

(音読) ・ 早すぎない速さですらすらと、はきはきと読めるように練習しましょう。

(漢字) ・ 一画一画をていねいに字のバランスに気をつけましょう。

(算数) ・ ミスなく、正確に計算するようにしましょう。

こんな家庭学習も…

☆ 復習

その日の学習を、教科書・ノートを参考にしながら、振り返りましょう。その日のうちに復習することで学習内容が定着しやすくなります。

☆ 予習

教科を問わず、どのような内容を学習するのか、事前に把握しておくこと、授業での理解は深まります。苦手な学習内容であれば、なおさら予習は有効です。

☆ テーマを決め調べ学習をする

自分の興味のあること・不思議に思っていることなど、自分で情報を集め、整理してまとめる力がつきます。

家庭での援助

- ・ 集中して学習に取り組める環境（静かな場所、整理された机）を整えてください。
- ・ 学習時間を決め、その日の学習の計画を立てられるようにしてください。
- ・ 基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）がくずれやすい時期です。家庭で管理してあげてください。

家庭学習の方法

1. 学校の宿題を最初に取り組みさせてください。目安の時間をオーバーしても、必ず最後まで取り組みさせてください。
2. まだ時間があるようでしたら、各学年のページの「こんな家庭学習も…」を参考に、取り組みませましょう。ほかに自分のしたいことが見つかる場合は、それをさせてください。
3. 自主学習ノートは、自分の成長を後から確かめたり、友達同士で参考にしあったりすることができます。また、保護者が見て、励ましたりほめたりすることができます。

家庭学習の目安

1年生……	20分
2年生……	20分
3年生……	30分
4年生……	40分
5年生……	50分
6年生……	60分

